

飛騨市民病院では、平成18年に緩和ケアチームを発足、翌年には緩和ケア外来を開設して、住み慣れた地域で安心して最期まで人生を全うするためのサポート体制を整えています。



暖かい癒やしのダイルーム

入院中の療養生活をよりよい環境で送っていただけるように、令和2年12月に飛騨市民病院を守る会様にご協力を賜り、2階ダイルームの改修を行いました。飛騨の匠の技が凝縮された優しい風合いの家具に包まれて、**ゆったり**とお寛ぎいただける空間となりました。

もしものときのために～人生会議してみませんか？～



あなたは「もしものこと」を考えたことがありますか？私たちは、いつでも命に関わるような大きな病気や怪我をして命の危険が迫った状態になる可能性があります。命の危険が迫った状態になると**約4分の3の方が**これからの治療やケアなどについて**自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなる**と言われてています。

”人生会議”とは、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたりあなたの**信頼する人たちと話し合う**ことを言います。あなたにはこのような前もっての話し合いは必要ないかもしれません。しかし自分の気持ちを話せなくなったときには、心の声を伝えることができるかけがえのないものになり、ご家族やご友人の心の負担は軽くなることでしょ。

※本内容は、連載企画です。今後の掲載予定は以下の通りです。既刊分をご覧になりたい方は飛騨市民病院にバックナンバーがあります。うまく活用しましょう。

- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|-------------------|
| 42号 | 2019/8 | 人生会議とは | 人生会議のすすめ方(流れ) |
| 43号 | 2020/2 | 第1ステップ | 考えてみましょう |
| 44号 | 2020/8 | 第2ステップ | 信頼できる人が誰か考えてみましょう |
| 45号 | 2021/2 | 第3ステップ | 主治医に質問してみましょう |
| 46号(本号) | 2021/5 | 第4ステップ | 話し合みましょう |
| 47号 | 2022/2 | 第5ステップ | 伝えましょう |
| 48号 | 2022/8 | やってみよう人生会議 | |



人生会議は5つのステップを踏むことで簡単に分かりやすくすすめることができます。

第4ステップ 話し合しましょう



もしあなたが、治癒が不可能な病気(癌、慢性心不全など)にかかり、その後病状悪化により、十分に考えたり、周囲の人に自分の考えを伝えられなくなった場合にどのようなケアを受けたいか、そして受けたくないかについて信頼できる家族や友人とともに考えていきます。選択した理由を話し合ってみましょう。

自分の考えを伝えられなくなった場合、どのような治療を望みますか？

延命を最も重視した治療

心肺蘇生、気管挿管、人工呼吸器の使用や集中治療室での治療など心身に大きなつらさや負担を伴う処置を受けても、できる限り長く生きることを重視した治療を受ける。

延命効果を伴った基本的一般的な内科治療

集中治療室への入院や心肺蘇生、気管挿管、人工呼吸器の使用などの、心身に大きなつらさや負担を伴う処置までは希望しないが、その上で少しでも長く生きるための治療を受ける。

快適さを重視した治療

治療による延命効果を期待するよりも、できる限り苦痛の緩和や快適な暮らし(自分らしい生活)を大切にしたい治療を受ける。

自分の考えを伝えられなくなった場合、してほしい治療やケアはありますか？

例:点滴は受けたい、お風呂はできるだけ入れてほしい、下の世話をさせたくない、好きな音楽を流してほしい、一人にしないでほしい、入院するのは嫌だ、最期まで口から食べたい、など

自分の考えを伝えられなくなった場合、どこで治療やケアを受けたいですか？

病院 自宅 施設 それ以外の場所()

飛騨市民病院では、がんなどの命に関わる病気の患者さんや家族のための緩和ケア外来を開設しています。

<緩和ケア外来>

毎週火曜日
診療時間 15:00~17:00
受付時間 16:30まで
問い合わせ先: TEL.0578-82-1150(代)

<主な相談内容>

- ★ 痛み、だるさ、息苦しさなどの変調について
- ★ 病気になったことで起きる様々な心配ごと
- ★ 病気のことを知る怖さや不安について
- ★ 在宅療養の支援について
- ★ 家族が持っている悩みについて 等

